

# 江南市立宮田中学校で防災講座を行いました

令和6年2月15日（木）、江南市立宮田中学校で2年生118名に水害と地震について防災講座を行いました。

水害の講座では、江南市でも被害のあった伊勢湾台風や昭和51年の9.12豪雨などについて学び、VRや映像で浸水を疑似体験しました。また、東海豪雨や入鹿切れ（犬山市の入鹿池の決壊）の映像も視聴し、入鹿池が決壊すると江南市まで浸水被害が及ぶ事も確認しました。ペットボトルを用いた雲や竜巻を作る気象実験も行い、体験や映像を通して水害の恐さや備えなどについて理解を深めました。

地震の講座では、新年早々に発生した能登半島地震やこの地域に甚大な被害をもたらした濃尾地震など過去に発生した地震を学び、液状化現象についても映像とペットボトルを用いた実験で発生する仕組みを学びました。

最後に、代表の生徒から、「大切な命を守るための対策や早く行動することの大切さを知ることができました。また、普段から情報収集やハザードマップの確認などをしておきたいと思いました。」との感想を頂きました。

今回の講座が、生徒たちの防災意識向上に繋がり、災害から大切な命を守ることが出来るようになって頂けることを期待しています。



気象実験(左)・VR体験(右)の様子



液状化実験の様子

